ドローン操作で課題解決力向上

関市でSTEAMツアー

ドローン操作に挑む参加者＝関市若草通、アテナ工業アリーナ

ドローン操作や理科数学の問題などに挑戦するイベント「STEAM（スティーム）ツアー」が、関市若草通のアテナ工業アリーナで開かれ、市内の小中学生約70人が参加した。

科学や技術、工学、芸術、数学を横断的に学び課題解決力を養う「STEAM教育」を推進しようと、市教育委員会の学校教育夢プランの事業として行われ、3回目。

参加者は3、4人のチームを組み、ドローン、教育用コンピューター「マイクロビット」のプログラミング、理科算数（数学）問題の各競技に取り組み、獲得した合計ポイントで順位を決めた。

ドローンの飛行では、タブレット端末でプログラミングを行い、障害物を避けながら飛ばしてゴールする時間を競った。子どもたちは失敗しても諦めずに挑戦し続け、素早くゴールすると笑顔を見せた。

ROBOZ（名古屋市）によるドローンの飛行デモンストレーションもあった。（高橋友基）

無断複製・転載を禁じます